



## 第17回サロン懇談会を開催しました

平成28年10月26日、敦賀に関する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究する市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が、敦賀港について意見を交換する「サロン懇談会」を開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催しており、今回で17回目となります。

まず開催にあたり、当事務所の大下所長より挨拶があり、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「我々にとっては専門的な内容になるが、港に関する新しい情報についてご披露願いたい。先日、敦賀港を船で見学させてもらった。その時の話も出るかと思うが、いろいろ教えて頂きたい。」と挨拶がありました。

その後、当事務所の辻企画調整課長から『最近の港湾行政について』、磯部係長から『みなとの「にぎわい」づくり』と題して、二つの情報提供を行いました。

意見交換では、「にぎわいに関してどこが中心になって動いているのか」、「クルーズ船については町ぐるみで対応が必要だが、ソフト面の対応としてどのような対応が必要か」など、敦賀市や敦賀港が発展していくための様々な意見を頂き、活発な意見交換の場となりました。



繁田会長の挨拶



大下所長の挨拶



日本海地誌研究会の皆様



敦賀港見学（9/14に実施）